

2019年度

お客様の資産形成・資産運用に関する
基本方針に係る取組状況

旭川信用金庫 2020年5月



お客様の資産形成・資産運用に関する基本方針に係る取組

当金庫は、お客様の資産形成・資産運用に関する業務において、真にお客様の立場に立った業務運営を徹底するため、2017年9月に標記の方針を制定しました。

また、具体的な取り組み等について、当庫の事業年度に合わせた毎年3月末時点の状況を公表しています。

今後も、よりお客様のお役にたてるように、商品・サービス等の向上に向けた取り組みを継続してまいります。

※ 基本方針の見直しは今回実施しません。

お客様の資産形成・資産運用に関する基本方針

2017年9月28日制定

方針1

お客様本位のコンサルティング

1. ご提案に際しては、お客様の最善の利益を意識し、取引の経験や知識、資産の状況、取引の目的、およびリスクに関する考え方等を踏まえ、安定的な資産形成・資産運用のための最適な提案を行います。
2. ご投資後も、投資環境の変化やお客様のニーズの変化等に応じ、必要な情報の提供やコンサルティングを行います。
3. お客様のさまざまな資産形成・資産運用ニーズ等にお応えできるように、厳選した商品をラインナップします。

方針2

お客様に提供する情報の充実とわかりやすい説明

1. 各商品の特性や仕組みについて、わかりやすい表現で、お客様の立場に立った丁寧な説明を行います。
2. お客様に負担いただく手数料について、より透明性を高め、より明確な説明を行います。
3. お客様の意向に沿った同種の取扱商品が複数ある場合は、運用実績や手数料等の比較を行い、適切に検討、判断いただける情報の提供を行います。

方針3

お客様本位の業務運営を実践するための態勢

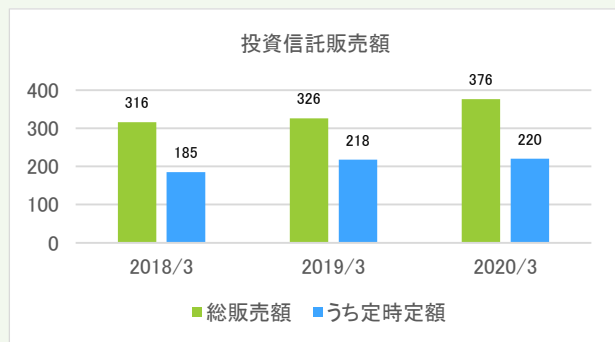
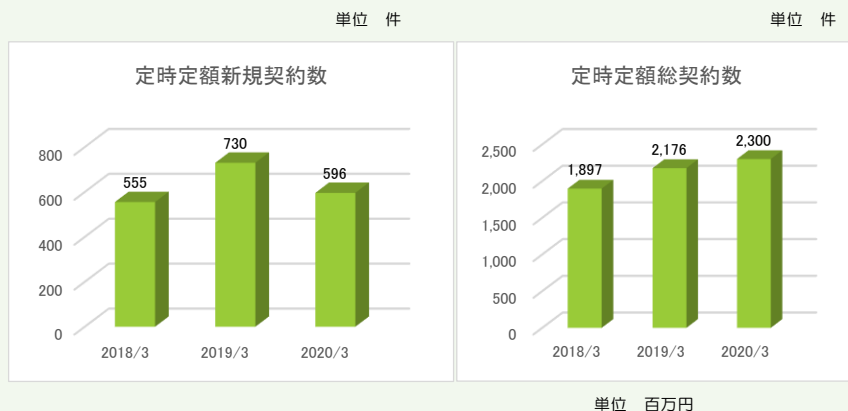
1. お客様本位の業務運営を確固たるものとするため、当金庫が企業文化として育ててきたホスピタリティ精神をさらに高めます。
2. 各種の研修等を通じ、職員のスキルアップを図ります。
3. お客様の多様なニーズや意向を踏まえたコンサルティングを実現するために、コンサルティング等の取組状況を業績評価等に反映する仕組みを構築します。

【お客さま本位のコンサルティング】

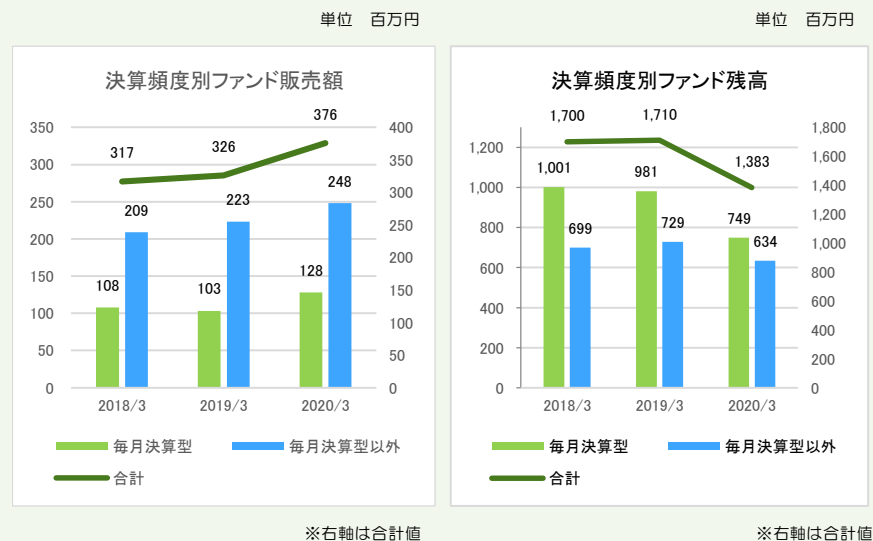
- ご提案に際してはお客さまの最善の利益を意識し、取引の経験や知識、資産の状況、取引の目的、およびリスクに関する考え方等を踏まえ、安定的な資産形成・資産運用のための最適な提案を行います。

【実施状況】

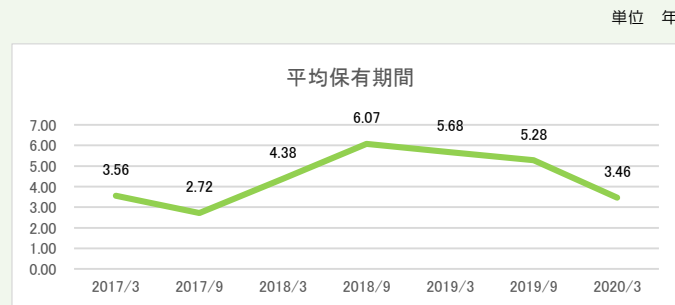
- 【投資信託】安定的な資産形成に有効な積立投信（定時定額買付サービス）をおすすめしております。新規契約数は減少しましたが、総契約数は増加しました。



- 【投資信託】お客さまのニーズに合った決算頻度のファンドをご提案しています。特に長期での資産形成ニーズのあるお客さまには複利効果の説明も含めてご提案しています。



- 【投資信託】長期投資の有効性をご案内していますが、株安等の影響による解約増加により平均保有期間も短期化しました。



※平均保有期間とは、半年毎各月末から過去一年間の平均残高を同期間の累計解約額で割ったものです。

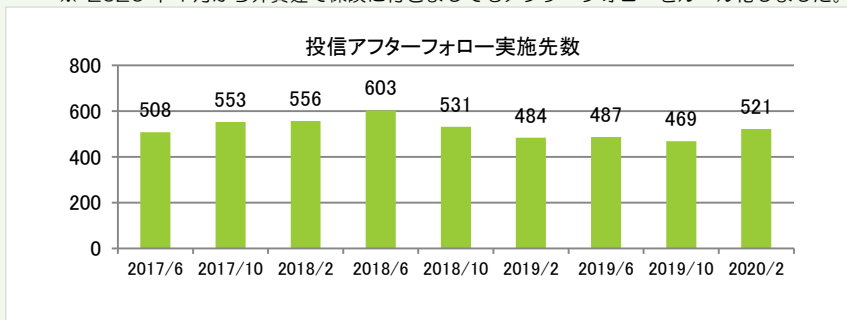
【お客さま本位のコンサルティング】

2. ご投資後も、投資環境の変化やお客さまのニーズの変化等に応じ、必要な情報の提供やコンサルティングを行います。

【実施状況】

○投資信託ご投資後も定期的に必要な情報の提供やコンサルティングを行っています。

※ 2020年4月から外貨建て保険に付きましてもアフターフォローをルール化しました。

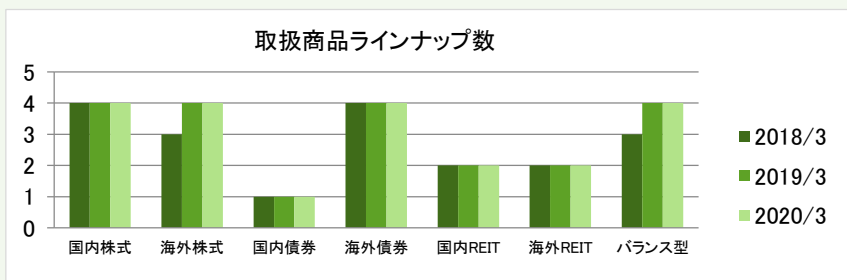


3. お客さまのさまざまな資産形成・資産運用ニーズ等にお応えできるように、厳選した商品をラインナップします。

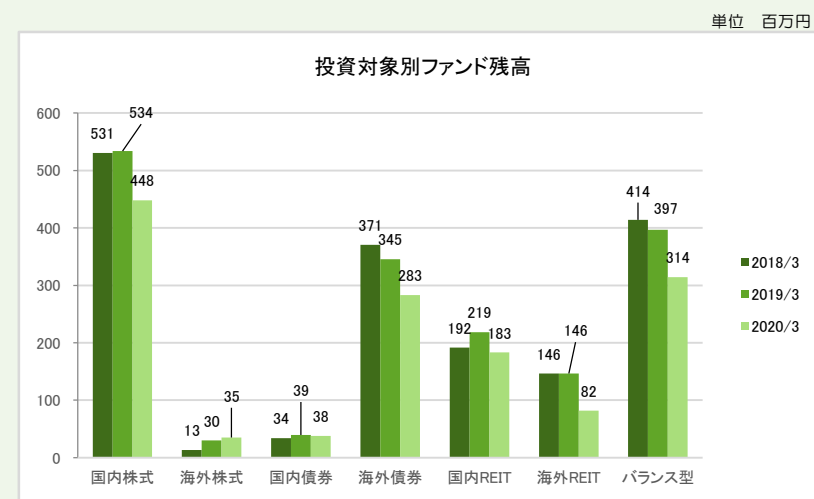
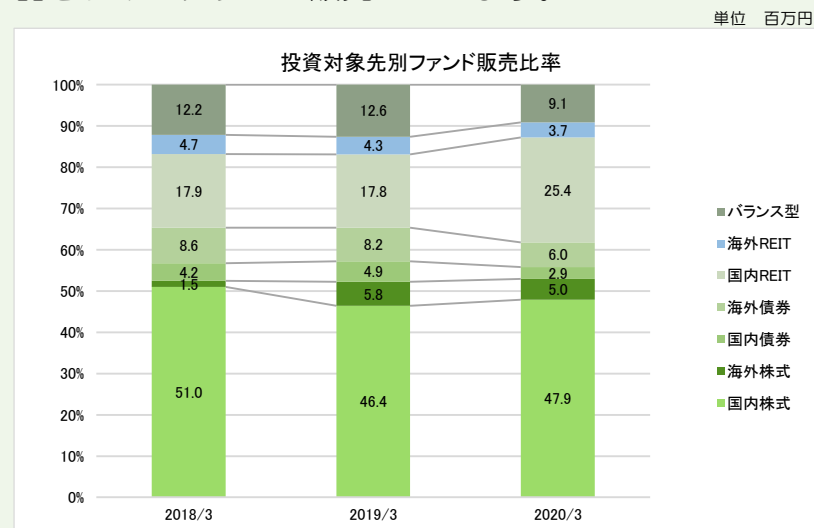
【実施状況】

○2019年度は投資信託のラインナップを変更していません。

※ 2020年4月より毎月決算型のバランス型2ファンドを1年決算型へ入れ替えました。



○多様なニーズにお応えできるように、様々な投資対象商品をラインナップし販売しています。



【お客さまに提供する情報の充実とわかりやすい説明】

1. 各商品の特性や仕組みについて、わかりやすい表現で、お客さまの立場に立った丁寧な説明を行います。
2. お客さまに負担いただく手数料について、より透明性を高めより明確な説明を行います。
3. お客さまの意向に沿った同種の取扱商品が複数ある場合は、運用実績や手数料等の比較を行い、適切に検討、判断いただける情報の提供を行います。

【実施状況】

○当金庫は、高い業務知識とともに優れた対応能力を有する職員を「マイスター」として任命しています。また、お客さまの資産形成についての的確なアドバイスができるように職員から「投資信託エキスパート・リーダー」を選抜し、提案スキルの向上を図っています。

2019年度 マイスター



2019年度 投資信託エキスパート・リーダー研修



○お客さまへの基本対応マナーの向上と、課題解決型営業のレベルアップを目的として全職員参加のロールプレイング大会を実施しています。



○お客さまの意向に沿った商品選択ができるように、パンフレットやホームページなどにて様々な情報の提供を行っています。

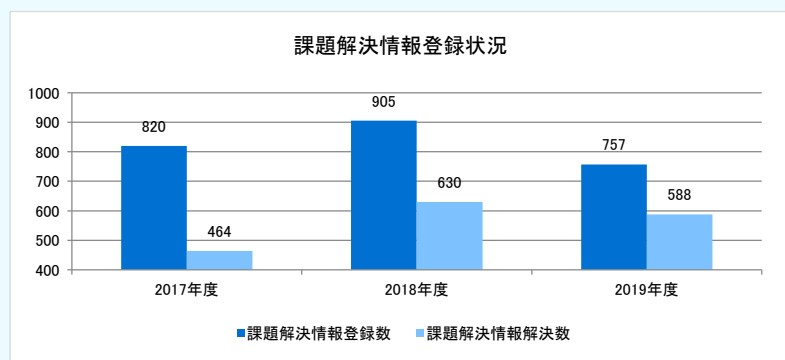


【お客さま本位の業務運営を実践するための態勢】

1. お客さま本位の業務運営を確固たるものとするため、当金庫が企業文化として育ててきたホスピタリティ精神をさらに高めます。
2. 各種の研修等を通じ、職員のスキルアップを図ります。
3. お客さまの多様なニーズや意向を踏まえたコンサルティングを実現するために、コンサルティング等の取組状況を業績評価等に反映する仕組みを構築します。

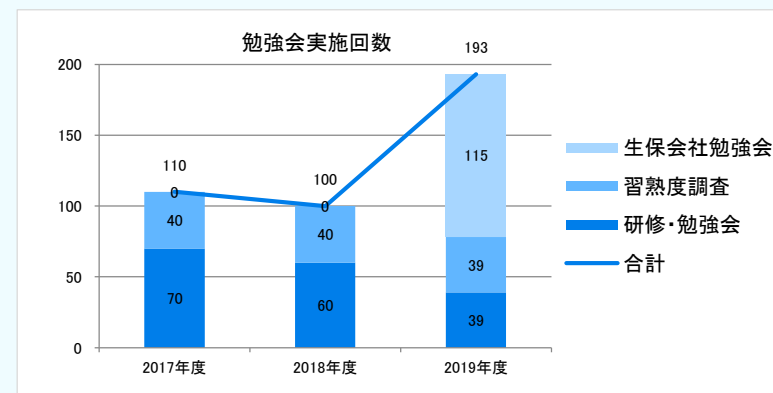
【実施状況】

○お客さまの課題を解決するまでのプロセスを、当庫独自のシステムに「課題解決情報」として登録し、提案から解決までを一元管理しています。
また、課題解決に対する取り組みが良好だった職員に対して、「課題解決営業賞」を授与し、業績評価等に反映させる仕組みを構築しています。



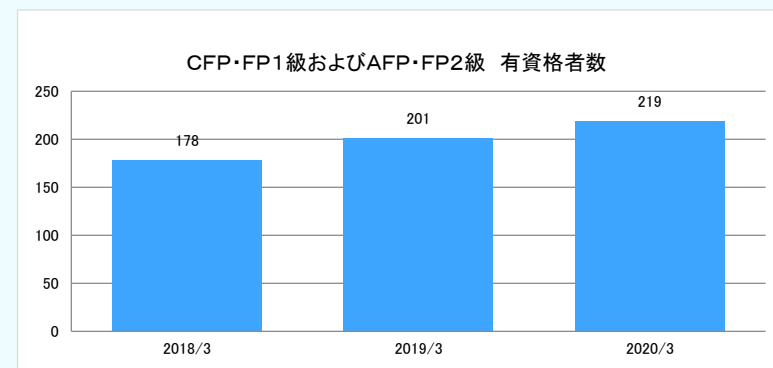
※上記登録数は課題解決情報の内、個人のお客さまの「資産運用」や「相続」などに関する情報の登録件数、および解決に至った件数

○庫内勉強会を実施しスキルアップに努めています。さらに生命保険会社による勉強会の実施を強化しました。



※習熟度調査とは、各店テラー・預金係の個々能力の調査のため、個別ロープレ等を実施した勉強会のことです。

○当庫では、お客さまの多様なニーズに応えるべく、職員の「FP資格」の取得を奨励しており、有資格者は増加しています。



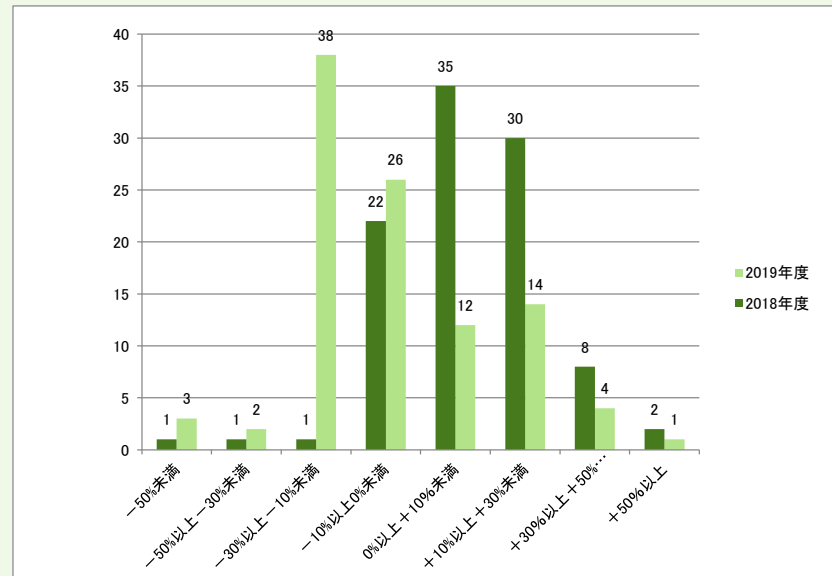
※FP2級は、個人資産相談業務・中小事業主資産相談業務いずれかの資格保有者

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」の公表について

金融庁が2018年6月に公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」に基づき2020年3月末基準で算出した数値を前年度と比較して公表します。

①投資信託の運用損益別顧客比率

単位 %

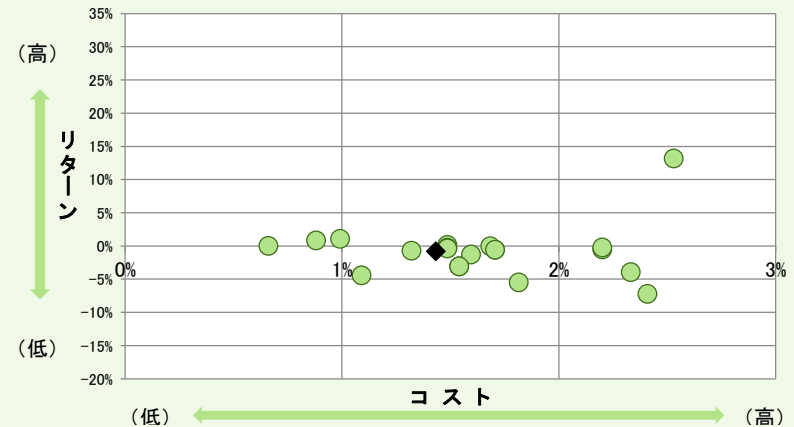


○3月末の株安等の影響により運用損益率がプラスになっているお客さまの割合は昨年の68%から低下し31%となりました。

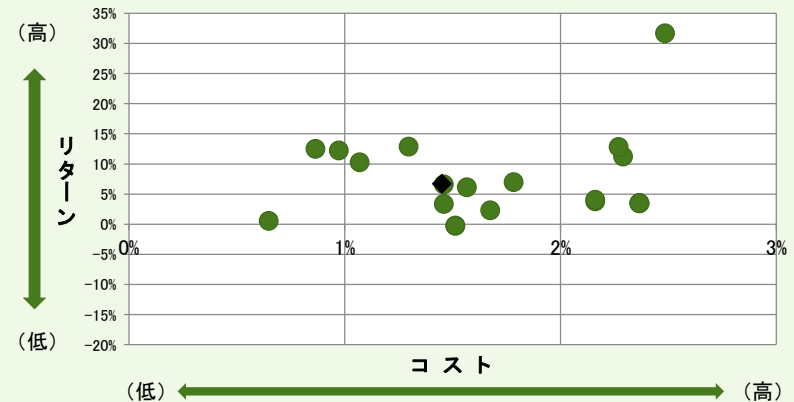
※原則として2003年6月以降の数値をもとに算出しています。

②投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

【2019年度】



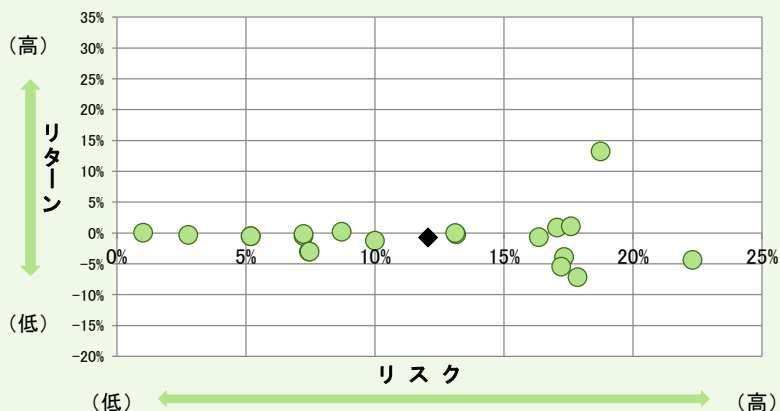
【2018年度】



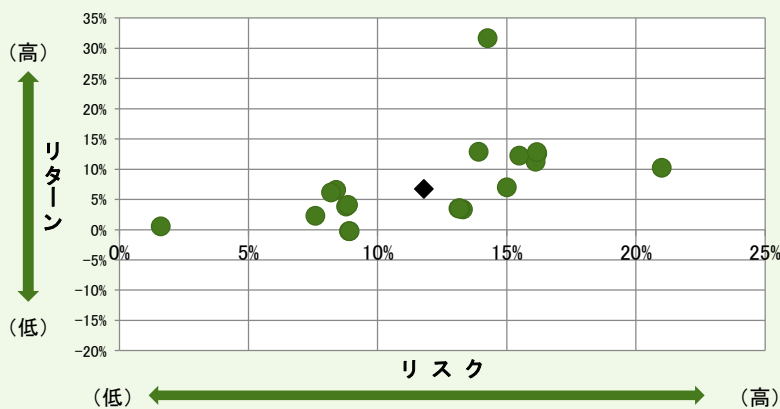
「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」の公表について

③投資信託の預かり残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

【2019年度】



【2018年度】



投資信託預かり資産残高上位 20 銘柄

※設定後5年以上のファンドのみ

順位	銘柄名	コスト	リターン	リスク	投資信託残高(円)
1位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	0.87%	17.06%	321,889,341
2位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	0.16%	8.71%	180,416,217
3位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	▲3.03%	7.44%	151,933,141
4位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	▲0.25%	13.16%	150,074,030
5位	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	▲1.28%	10.00%	102,298,997
6位	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	▲7.21%	17.85%	74,106,719
7位	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	▲0.67%	16.35%	55,875,532
8位	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	▲0.56%	5.19%	53,275,743
9位	ニッセイ/バトナム・毎月分配インカムオープン	2.20%	▲0.50%	7.23%	39,140,532
10位	しんきん公共債ファンド	0.66%	0.05%	1.03%	38,611,315
11位	しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.68%	▲0.03%	13.11%	33,464,133
12位	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	▲0.33%	2.77%	29,554,771
13位	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09%	▲4.40%	22.31%	23,054,664
14位	ダイワ・バリュー株・オープン	2.33%	▲3.92%	17.33%	16,470,759
15位	グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型)	1.71%	▲0.52%	5.18%	15,582,411
16位	新成長株ファンド	2.53%	13.20%	18.75%	13,658,609
17位	ニッセイ/バトナム・インカムオープン	2.20%	▲0.18%	7.23%	13,108,981
18位	DIAM高格付インカム・オープン(1年決算コース)	1.54%	▲3.03%	7.47%	10,995,196
19位	しんきんアジアETF株式ファンド	1.82%	▲5.45%	17.21%	10,674,542
20位	SMTグローバル株式インデックス・オープン	0.99%	1.08%	17.59%	10,024,647

【比較可能な共通 KPI とは】

①運用損益別顧客比率

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別に比率を示した指標です。この指標により、個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているか見ることができます。

②投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン および

③投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位 20 銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。これらの指標により、中長期的に、金融事業者がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

本件についてのお問い合わせ先
旭川信用金庫 経理証券部
TEL 0166-24-8872